

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 法学研究科 |
| 大項目 | 7 国際交流 |
| 中項目 | |
| 小項目 | 7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。 |
| 要素 | (KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性 |
| 小項目 | 7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。 |
| 要素 | (KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院） |

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|---|---|------|
| 1. 外国人客員研究員等の受け入れ、教員の海外派遣の支援、協定校への院生の派遣を推進する学部国際交流委員会を設置する。 | → 「法学部国際交流支援委員会（仮称）の検討内容と結論、メンバー数（参加者数）、答申案など」活動報告、「人的国際学術研究交流データ（海外客員教員招へい数・吉林大学等への出張者数・留学生数・国際学会等出席者数等（教員・院生別）」、「大学院研究科の学生定員数および在籍者数」、「留学等の海外研究・学会出席回数」 | C |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
| | → | ☆ |
| | → | ☆ |

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

| | |
|-------------|---|
| ☆ 小項目 7.0.1 | (現状説明) 2006年1月の、モンテスキュー＝ボルドー第4大学と本学との間での博士学位国際共同指導協定（ボルドー政治学院・法学研究科の共同指導）に基づき、学位取得を目指していた院生が2010年1月に両校から博士学位を取得したが、その事後関係の継続に就いて、研究科としてフォローアップが無く、教員の派遣後の関係継続と同様の課題が残った。目標とした法学部国際交流支援委員会（仮称）設置に向け、今年度は、08年度及び09年度の留学経験者を中心に、事後関係の継続とともに、国際国流支援ないし推進に関する全般的な情報を収集を実施した。尚、今年度、協定校への派遣ではないが、EUIJ関西奨学金（欧州研究調査旅行助成金）に採用された博士後期課程の院生がおり、助成金利用による派遣の活性化に注目したい。 |
| ☆ 小項目 7.0.2 | (現状説明) |
| ☆ その他 | |

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

| 【法学研究科】 | | | 単位 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 備考 | |
|-----------------------|-------------------------|--------------|-----|------|------|------|------|------|-----|-------------------|
| 指標1 | 国際交流協定締結機関数 | | 機関 | — | — | — | — | — | | |
| 指標2 | 国際交流協定締結国数 | | 国 | — | — | — | — | — | | |
| 指標3 | 海外からの学生の受け入れ | 国 数 | 国 | — | — | — | — | — | | |
| | | 外国人留学生 | 正規 | 人 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | |
| | | | 交換 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 外国人留学生在籍学生比率 | 正規 | % | 1.5 | 3.5 | 5.1 | 2.6 | 5.0 | 外国人留学生(正規)÷在籍学生数 |
| | | | 交換 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 外国人留学生(非正規)÷在籍学生数 |
| その他 (セミナー等による受け入れ) | 人 | — | — | — | — | — | | | | |
| 指標4 | 海外への学生の派遣 | 国 数 | 国 | — | — | — | — | — | | |
| | | 人 数 | 長期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 短期 | 人 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 在籍学生比率 | 長期 | % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 海外へ派遣した学生数÷在籍学生数 |
| 短期 | % | | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |
| 指標5 | 人的国際学術研究交流 (受け入れ教員数) | 長期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 短期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 指標6 | 人的国際学術研究交流 (派遣教員数) | 長期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 短期 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 指標7 | 国連ボランティア(UNV)の参加者数 | | 人 | — | — | — | — | — | | |

注) 正規、交換について

正規とは学位取得目的(大学院生は特別学生を含む)。交換とは正規以外で大学院短期留学を含む

注) 長期、短期について

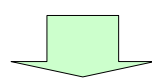
指標4: 1学期以上を「長期」とし、1学期未満を「短期」とする。

指標5・6: 1年間以上を「長期」とし、1年間未満を「短期」とする。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

| | |
|-------------|--|
| 小項目 7.0.1 | |
| ☆ 小項目 7.0.2 | |
| その他 | |



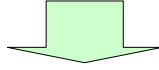
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

| | |
|-------------|--|
| 小項目 7.0.1 | |
| ☆ 小項目 7.0.2 | |
| その他 | |

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

| | | |
|---|----------|--|
| ★ | 小項目7.0.1 | 協定校への院生の派遣数が見いだせないことに就いては、協定校の提供するプログラムと院生の研究テーマが合致するとは限らないという事情もあるが、一般的に院生の海外派遣という課題については、現在のところ、教員の派遣と連動させ、特に教員の事後関係の継続を軸にして、施策を模索する必要があると考えている。 |
| | 小項目7.0.2 | |
| | その他 | |



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

| | | |
|---|----------|--|
| ★ | 小項目7.0.1 | 今後は、教員の派遣と連動させ、特に教員の事後関係の継続を軸とする観点から、教員および院生の海外派遣を推進するためには、委員会を法学部と法学研究科を横断する組織として設置すること、さらに国際交流に就き多様な情報の収集・分析、国際交流の基本的なあり方の検討するといった役割の拡張を踏まえた運営上のガイドライン等の作成を行うこととしたい。 |
| | 小項目7.0.2 | |
| | その他 | |

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

| | | |
|---|---------------|--|
| ★ | その他 (自由記述) | |
|---|---------------|--|

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○法学の性格や研究テーマによっては必ずしも国際交流に向かないケースもあると思われます。しかし、比較法などの分野もあることから委員会などの組織や支援の体制作りは積極的に進めておくことが望まれます。

【学内委員】

○小項目7.0.1の説明においては、まず(方針)として、方針そのものを記述してから、現状説明してください。

○小項目7.0.1の現状説明は、小項目7.0.2での説明だと思えます。

○点検・評価のサイクルが進行中と判断されます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 小項目7.0.1の説明の部分に(方針)を記述せよとの指摘に対し、例えば『大学の国際交流の方針を共有しつつ、法学研究科独自の推進・支援策も検討・実施する』といった(方針)を記述することとする。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

| | |
|----------|------------------|
| 7.0.0.S1 | 協定校と相互交流数(学生・教員) |
| 7.0.0.S2 | 国別国際交流協定締結先機関数 |
| 7.0.0.S3 | 人的国際学術交流数 |

<個別的な指標>

| | |
|--|--|
| | |
| | |